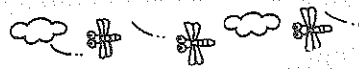


# お茶会だより 9月号

矢島保育園 R5.9.27

総合案内所で、お茶のお稽古も3回目となりました。  
この日は、お茶を一緒に楽しみたいと、3名のお客様にも来て頂き  
お茶会を行いました。お客様に見守られながら茶室への入室。  
その時の植田先生へのおしぎは、いつもより表情が引き締まっている  
子ども達でした。



お床拜見では、暑さも和らぎ涼しい秋風となり、もう秋(中秋の名月を  
迎えるということで季節にピッタリな掛け軸。実りの秋とばかり田んぼも  
黄金色になり稲穂穂に雀が集まっている香合など、秋の季節を表わし  
たいという植田先生の思いが込められており、心地良い静寂の中に  
沢山の秋が感じられました。

お菓子をもらう時の箸の扱い方も、先月から習い始め、箸を手に  
取る手順も一人一人学んだことを思い出しながら箸を扱っている姿が  
見られていました。「甘くておいしい」とお菓子を味わう子ども達。  
運ばれてきたお茶を勢いよく飲み干す子もあり、少しづつ、お茶の  
味にも慣れてきているのが感じられました。

基本の立ち振る舞いや挨拶など、少しずつ身につけてきてはおりまわ  
い「これでいいのかな」と不安そうな表情も見られますので、自信を持  
て出来るよう、これからもお稽古に取り組んでいきたいと思っております。

【今月の床の間】

《掛け軸》「清風」



もうすぐ中秋の名月ということで、涼やかな風に揺れるススキとお月様の掛け軸が飾られ、秋の風情となりました。

《茶花》

「ススキ・ハギ・フジバカマ  
カリガネソウ・シュウカイドウ」



《香合》「実りの秋」



【お茶会の様子】



《お菓子》「やきいも」



前回のお茶会から一か月、食事中、箸の持ち方に気を付けて食事をとっていた子ども達。今月のお稽古では、お菓子を頂く時のお箸の扱い方にも少しずつ慣れてきた様子が見られました。

箸の持ち方に気を付けて取ろう



箸を拭く時は懐紙ではさんで箸を引くように…



上から持って…  
次は、下から持つんだよね

佐藤則子さん

秋田大学の保坂先生、矢島保育園看護師の佐藤さん、児童民生委員の新田さんから温かい感想を頂きました。

私もお茶を習っていますが、皆さんはお茶会の作法をきちんと覚えていましたね。



保坂和貴先生

一つ一つの挨拶や作法がとても素敵でしたよ。これからもお稽古頑張ってくださいね。



新田実生子さん

お箸の使い方が上手になっていて驚きました。次回も楽しみにしています。

